

N-バス再編案について

○ パブリックコメント（意見募集）の実施

- (1) 実施項目
N-バス再編素案について
- (2) 実施期間
令和8年7月13日から8月12日まで ※7/18 に説明会実施
- (3) 結果集計
120人から計262件（項目）のご意見を受付
- (4) 意見（別紙1 参照）
主な意見は以下のとおりです。
 - ・ 福祉の家へのアクセス継続の要望
 - ・ 増便の要望
 - ・ 藤が丘へのアクセス継続の要望
 - ・ 日曜日・祝日の運休に反対する意見
 - ・ 個別のルート設定に関する要望
 - ・ 個別のバス停設置・移動に関する要望
 - ・ 現状継続の要望
 - ・ 市役所へのアクセス継続の要望
 - ・ 運賃値上げに反対する意見
 - ・ 土曜日の運行時間延長の要望 など
- (5) ご意見に対する市の考え方
別紙1を参照ください。

1 ルート案について【別紙2のとおり】

パブリックコメントの意見を踏まえ、補助交通として、基幹交通（リニモ、名鉄バス）と調和を図るとともに、行程の効率化、既存バス停の利用実態（利用者数やOD状況など）及び市内公共交通空白地域を考慮した、ルート設定やバス停配置とする

- (1) 藤が丘バス停、下山バス停、杵木バス停は残置
⇒ 西部線（左回り・長久手古戦場駅行き）の一部の便で、藤が丘バス停等にアクセスする（10時～16時の時間帯で3便程度）
- (2) 中央線のルートを修正
⇒ 名鉄バス路線がない区域やまちづくりセンター（市施設）にアクセスする
⇒ 利用者の多いバス停を残置（菖蒲池、愛知学院西など）
- (3) 西部線のルートを修正
⇒ 名鉄バス路線がない区域にアクセスする
⇒ 利用者の多いバス停を残置（下鴨田、南中学校、名都美術館など）

- (4) 福祉の家へのアクセスは、デマンド型交通への乗継にて継続
⇒ 福祉の家へのアクセスは、新たに導入するデマンド型交通で継続する
※例えば、市役所や古戦場駅等までN-バスを利用し、そこからデマンド型交通に乗継いで福祉の家にアクセスする
※乗り継ぎの必要があること等周知をする
- (5) 三ヶ峯地域のN-バス利用児童を考慮
⇒ 改善センターバス停を残置し、3便程度で同バス停にアクセスする

2 ダイヤ等について

- (1) 市の財政状況を踏まえつつ、市民の日常生活の移動（通院、通勤・通学、買い物など）を支えることを目的に利用率が高くなる合理的かつ効率的なダイヤを設定するため素案どおりとする
⇒ 平日及び土曜日の運行とし、日曜日及び祝日は運休とする
※日曜日は利用実態として平日と比べ乗車人数が少ないことと、市の財政状況を踏まえながら、補助交通として市民の日常生活の移動について、合理的かつ効率的なルート、ダイヤ設定により支える目的からも、趣味、娯楽などでの利用が中心と考えられる日曜日・祝日を運休とする
※土曜日は、医療機関の土曜日午前中開院を考慮し、時間を縮小した運行とする
⇒ 運行時間は平日7:30～20:00程度、土曜日9:00～15:00程度とする
- (2) パブリックコメントの意見を踏まえ、利用促進（サービスレベル向上）のため、運行行程の効率化、運行便数の増便を図るとともに、引き続き乗継・乗換の利便性を向上させる
⇒ 1行程の時間を60分程度とし、1時間に1便程度、運行する（現在の中央線・西部線が平日最大7便⇒再編後は平日8～10便見込み）
⇒ ルート再編による、車両の集約化や行程（旅程）の効率化を実施する
⇒ 今後（将来に渡って）の増便維持やさらなる増便に向けて、継続的な利用促進が不可欠となる
⇒ ダイヤ設定において、乗継・乗換を考慮する
⇒ Googleの乗換案内などに対応する公共交通運行情報標準データ（GTFS）を活用した乗継・乗換の検索性の向上に引き続き取り組む

3 運賃の改定等について

- 公共交通の運賃バランスや受益者負担率を考慮し、またサービスレベルの向上を図るとともに、N-バス運行の持続性を確保するため素案どおりとする
- (1) 基本運賃（均一）を200円に値上げする
⇒ 前再編時の負担割合25%を引き続き考慮する（222円⇒200円）

《裏面に続く》

- (2) フリーパス券及び回数券の改定等について
 - ⇒ 販売金額は、運賃と同様に2倍に値上げする
 - ⇒ 販売対象者を市内在住を問わず、また全年齢に拡大する
- (3) 乗継券について
 - ⇒ N-バス⇔N-バス、N-バス⇔デマンドの乗継は乗継券発行
- (4) 無料乗車の対象について
 - ⇒ 現行対象者（中学生以下、障がい者等及び市内在住 75 歳以上）は継続
 - ⇒ 市内在住の 65 歳～74 歳の自動車運転免許返納者を追加する
- (5) その他
 - ⇒ 再編前に購入したフリーパス券及び回数券の取扱は以下とする
 - ・フリーパス券：有効期限までは引き続き使用可とする
 - ・回数券（100 円券）：1 枚 100 円分として引き続き使用できる
 - ⇒ 利便性の向上として電子チケットを導入検討する

4 デマンド型交通について

- (1) 運行エリア・停留所
 - ⇒ 東部線沿線エリア、R7 実験停留所・N-バス停を基本
 - ⇒ 昼間限定特別停留所（愛知医大、アピタ長久手店、文化の家）
 - ⇒ 基幹交通と調和を図るための利用制限
（リニモの各駅間、市役所⇔長久手古戦場駅は禁止）
- (2) 運行日・時間
 - ⇒ 平日 7:30～19:30（13:00～14:00 運休）・土曜日（9:00～15:00）
 - ⇒ 日曜日・祝日は運休
- (3) デマンド型交通の運賃
 - ⇒ 基本運賃 200 円※昼間特別停留所との移動は 400 円（基本運賃+200 円）
 - ⇒ 無料対象はN-バスと同じ（市内在住の 75 歳以上も無料）
 - ⇒ 回数券設定あり、フリーパス券の設定なし
 - ⇒ N-バスとの乗り継ぐ場合は乗継券を発行
- (4) その他
 - ・ 利用予約はWEBと電話での受付とする
 - ・ 小学生のみの利用は可とするが、予約は保護者によるものを考慮する